

2020年11月24日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代表者名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 河田 喜一郎
(TEL. 052-446-6100)

胃食道逆流症治療薬tegoprazanのフィリピン、モンゴル及びシンガポールにおける サブライセンス契約締結並びに一時金受領のお知らせ

昨日、当社がHK inno.N Corporation（本社：韓国ソウル市、代表取締役：Seok-Hee Kang、以下「HKイノエン社」）へ導出したtegoprazan（韓国販売名（韓国登録商標）：K-CAB®、以下「tegoprazan」）につきまして、HKイノエン社がフィリピン、モンゴル及びシンガポールの3カ国でサブライセンス契約を締結したとの連絡を受けましたので、以下の通りお知らせします。これにより、当社は一時金を受領することが確定いたしました。

このたびHKイノエン社がサブライセンス契約を締結したのは、フィリピンのMetro Pharma Phils Inc.（本社：フィリピン・メトロマニラ、以下「MPPI社」）、モンゴルのMonos Pharma LLC（本社：モンゴル・ウランバートル、以下「Monos社」）と、シンガポールのUnited Italian Trading Corporation (Pte) Ltd.（本社：シンガポール、以下「UITC社」）です。3社とも同国で有力な医薬品関連企業であり、今後、これら企業の販売力を背景にtegoprazanのグローバル展開に弾みがつくことが期待されます。

フィリピンにつきましては、MPPI社とのtegoprazanの独占的契約期間は販売開始後10年間です。

また、モンゴルにつきましては、Monos社とのtegoprazanの独占的契約期間は契約締結後10年間です。HKイノエン社はモンゴルにおけるtegoprazanの販売開始時期の目標を2021年としております。

シンガポールにつきましては、UITC社とのtegoprazanの独占的契約期間は契約締結後8年間です。HKイノエン社はシンガポールにおけるtegoprazanの販売開始時期の目標を2022年としております。

上記サブライセンス契約3件の締結に伴い、当社は、HKイノエン社とのライセンス契約に基づき、一時金並びにtegoprazanにより得た収益に応じてロイヤルティ収入を受領する予定です。

当社は今後も引き続き、HKイノエン社との連携をより強固にし、今後のサブライセンス契約支援並びに開発支援を継続して実施し、プロジェクトの進捗に伴うマイルストーン収益及び販売後のロイヤルティ収益の獲得を目指します。tegoprazanによる胃食道逆流症治療の選択肢を広げることで、患者さまのQOLの向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

なお、本件により、当社が2020年8月14日に公表した2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）通期連結業績予想に変更はありません。当社は、HKイノエン社のサブライセンス契約による販売地

域の拡大により、中長期的に当社の企業価値の向上に寄与するものと考えております。

以 上

【ご参考】

【Tegoprazanについて】

当社が創出したカリウムイオン競合型アシッドブロッカー（Potassium-Competitive Acid Blocker：P-CAB）と呼ばれる新しい作用機序の胃酸分泌抑制剤です。P-CABは、胃食道逆流症治療の第一選択薬であるプロトンポンプ阻害剤（PPI）とは異なるメカニズムで、PPIよりも速やかにかつ持続的に胃酸分泌を抑制することから、PPIに代わる新しい酸関連疾患治療薬となることが期待されております。

【Tegoprazanのグローバル展開について】

当社はHKイノエン社との間で、2010年9月に東アジア地域を、2014年11月に東南アジア地域を、2017年12月にはROW（Rest Of World：中南米、ロシア、東欧及び中東地域）を対象とした開発・販売及び製造の再実施許諾権（サブライセンス権）付き独占的ライセンス契約を締結しました。HKイノエン社は韓国でtegoprazanの開発を進め、2019年3月に韓国で30番目の新薬として上市しました。そのほかの国や地域についても、HKイノエン社は中国、ベトナム、中南米、インドネシア、タイの有力企業にtegoprazanのサブライセンス権を付与しており、市場を順次開拓しております。